

岩見沢市地域福祉計画策定委員会（第5回）

日時：平成29年3月29日（水）10時00分～10時40分

場所：岩見沢市役所 3階 第2会議室

出席者：堀委員、齋藤委員、佐藤（恵）委員、高松委員、内海委員、山本委員、梅田委員、石合委員、鎌田委員、中村委員、東海林委員、湯澤委員、北市委員、土田委員、橋本委員、佐藤（昌）委員、高岡委員

欠席者：なし

事務局：石崎健康福祉部長、杉野健康福祉部健康福祉推進担当次長、下野福祉課長、青山福祉課主幹、小笠原福祉課総務グループ担当主査、左向福祉課主査

1 開会

2 委員長あいさつ

【委員長】

おはようございます。本日はご出席いただきまして大変ありがとうございます。ただ今から第5回地域福祉計画策定委員会を始めさせていただきますが、本日が最終の委員会になります。本日協議していただきます計画（案）につきましては、前回の第4回の策定委員会でいただいたご意見、要望、それから、パブリックコメントでいただいたご意見、要望に応じて修正したものを事前にお届けしておりますので、目を通していただけたかと思えます。この計画そのものについてそれほど多くの発言はないかと考えておりますけれども、せっかくの機会ですので、本計画の策定に関わった感想ですとか、あるいはこの計画を実践に移すにあたっての要望ですとか、そういうものを含めてご発言をいただければありがたいと思えますので、よろしくお願い致します。また、本日は、皆さま大変ご多忙な中でございますので、できるだけ効率的に議事を進めさせていただきたいと考えておりますので、その点も併せてよろしくお願い致します。

では、議事に従って進めさせていただきます。（1）岩見沢市地域福祉計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

3 議事

（1）岩見沢市地域福祉計画（案）について

【事務局】

年度末の大変お忙しい中、皆さま全員にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、地域福祉計画（案）についてでございます。第4回からの変更点についてご説明させていただいたのち、今日お配りしました策定10箇条に沿って、少し策定の過程を振り返りながら、どんな計画になったかという点も含めてご説明したいと思います。

まず、第4回からの主な変更点についてですが、計画（案）と変更点の資料を見比べていただきたいと思います。まず文章表現ですが、細かい部分を何か所か修正させていただいておりますが、そのご説明は割愛させていただきます。

計画（案）の 33 ページをご覧ください。第 4 回の会議の中で、基本理念のところ、「健康」という言葉がくどいほど使われているということがございまして、このような内容に修正させていただきます。

38 ページの、個別施策の 6、子どもの貧困対策の強化につきまして、相談体制の充実も重要だということで、内容を追加させていただきました。

そして 39 ページをご覧くださいなのですが、高齢者が見守られる側だけではなく、お互いに支え合う地域づくりを推進するということも重要ということで、基本施策の 4 のところで追記と言いますか、内容を修正させていただきます。

続きまして 42 ページですが、個別施策の 12 で、元は「福祉除雪」の推進という表現になっておりましたが、「福祉除雪」という言葉自体が広く浸透している言葉ではないので、より分かりやすくするために「除雪支援」という形に言葉を変えさせていただきます。

資料編の 58 ページ、皆さまから募集させていただきましたそれぞれの想いにつきまして、語尾等を全体的に調整させていただきます。

第 4 回からの主な変更点についての説明は以上でございます。

最後に 49 ページをご覧ください。一番下「SNS」の用語解説で、現在「ソーシャルネットサービス」となっておりますが、正しくは、「ソーシャルネットワーキングサービス」ですので、こちらは製本する際に修正させていただきますと思います。

続きまして、第 1 回目の策定委員会で配らせていただいた策定 10 箇条についてご覧いただき、ここからどのような計画になったかということ振り返りたいと思います。

第 1 条、岩見沢市民のためにとということですが、この地域福祉計画自体は国では平成 15 年に作ってくださいという規定が設けられ、そこから今まで作られていなかったということがまず初めにありました。以前地域福祉計画を策定する部署にいた関係で、この計画の重要性を認識していたこともあり、岩見沢市にも是非あった方がいいと思い、今回策定に取り組みさせていただきました。

第 2 条、岩見沢市民が誇りを持てるような内容とするということで、そのような内容にしたつもりですが、実際の評価はこれからだと思っています。

第 3 条、岩見沢市民一人ひとりに訴えかける内容とするというところで、これを具体化させたのが、策定委員の皆さまから募集させていただきましたそれぞれの想いになると思います。長年岩見沢市におられる、そして行政ではない皆様からこうした想いをお寄せいただいたのは、本当に市民一人ひとりに訴えかける内容になっていると思います。

第 4 条、岩見沢市ならではの先駆的な内容ということで、一つは「雪」が特徴であり、一つは「健康」、これは昨年、自治体で初めて健康経営都市宣言が認定され、それを目指すというこの 2 点が大きなポイントで、基本理念にも盛り込んだところです。

第 5 条、具体的でわかりやすい内容にするということは、心がけて作ってまいりました。

第 6 条、完成形をイメージしておくということで、年度末になってしまいましたが、今日を迎えられてよかったと思っております。

第 7, 8, 9 条の連携ですとか、策定してそれで終わりではなくということ、計画の中ではそういった文言がありますが、実際に具体化していくのはこれからだと考えております。

第 10 条、地域福祉の推進について、策定自体は皆様にご協力いただいてここまでくること

ができました。この 10 箇条に沿ってこちらの地域福祉計画（案）が、出来上がっていますということで、事務局からのご説明は以上でございます。

【委員長】

それでは、まず初めに第 4 回からの変更点ということで、修正した箇所が何か所かございました。これらについていかがでしょうか。ご意見などがありましたらお願い致します。最も大きな変更点としては、基本理念のリード文です。これは全体に関わる言葉ですが、ご納得いただけますでしょうか。（異議なし）

ありがとうございます。こちら事務局では大分悩まれて考えて到達したところですので、感謝申し上げたいと思います。

それから、子どもの貧困対策というところでは、相談体制の充実という言葉を加え、高齢者等の孤立の防止というところでは、高齢者自身もその中で一つの役割を果たしていかなければならないということを位置付けたということでございます。これについてもいかがでしょうか。私も高齢者の 1 人としてこういう視点というのは皆が持たなければいけないと思いますし、ここに明確に位置付けられたのは意義があると受け止めておりますが、ご納得いただけますか。（異議なし）

もう 1 か所、「福祉除雪」という言葉がまだ馴染んでいないので、「除雪支援」の推進という言葉に修正させていただいたということでした。これについてもよろしゅうございますね。（異議なし）

それから、「ソーシャルネットサービス」、これを「ソーシャルネットワーキングサービス」という言葉に製本の段階では修正をしたいということでした。用語の解説ですので、用語そのものが不正確だと解説している内容も信憑性がなくなってしまいます。小さなことですが大事なことですのでご了解いただければと思います（了解）

計画（案）について説明がありましたのは以上でしたが、これ以外について、何かございますか。これから印刷をして製本致しますので、どうしてもというところがありましたらまだ修正は可能です。何かございましたらご意見いただければと思います。（なし）

では、この計画についてはご了解をいただけると判断させていただいてよろしいでしょうか。（異議なし）

それではこの内容で、市長にご報告させていただきます。ありがとうございました。

それから、計画策定の 10 箇条についてお話がありました。本当に、事務局の想いがこもったお話ではなかったかと思えますし、限られた時間の中で、ここまでまとめ上げていただいたということは周囲のサポートもあったことでしょうし、策定委員さん各委員の様々なご意見、視点があつたおかげではないでしょうか。そういう諸々の力が合わさって、できた計画であるということです。我々も随分勝手なことを言いましたけれども、それを法律の精神に則ってこの計画の中に位置付けていただいたということ、岩見沢市にとっても非常に良かったのではないかと考えております。

これをどうやって具体的に実践に繋げていくかということは、今度は我々の責任になりますので、そのあたりを一人ひとりが心して広めたいと思っているところです。何かご意見等ございませんか（なし）

【事務局】

皆さまと事務局とでこうして作られた計画を、職員もしっかりと実現するといいますか、実効性のあるものにするよう頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

【委員長】

それでは、次第のその他に進みます。事務局お願いします。

【事務局】

只今もう一枚資料をお配りしましたが、その他として三つご説明させていただきたいと思います。一つ目は、第4回の議事録ですが、ご確認いただいてご意見等なければホームページで公表させていただきたいと思います。

二つ目は、この計画が冊子になるまでのスケジュールですが、まず本日、この会議が終わります。午後、委員長と副委員長で市長にこの計画をご報告させていただきます。それに基づきまして、4月中に市長の挨拶文を加え、最終的に文言等を確認した上で冊子を印刷致します。恐らく5月連休明けになるかと思いますが、皆さまに冊子をお送りさせていただきたいと思います。

なお、計画の中身につきまして、5月の広報に掲載させていただく予定であります。今後の流れとしてはこのような形になると考えております。

そして三つ目、最後にまた10箇条ということで作らせていただいたのですが、とても抽象的といいますか、誰にでも当てはまるような、ということを考えて作りました。

岩見沢市の地域福祉の推進のためということなのですが、この中で、第2条の自分以外のことも考えるということが、1条にあります大きな視点で捉えた上で、自分以外のことも考える、これは自分個人の話だけではなくて、自分の所属する団体、組織以外のことも考える、要するに相手のこと、気持ちや立場も考える、ということが助け合い、支え合いを実現していく上で一番重要ではないかと思っております。

第3条から6条までは一連になっております。現状を知った上で自分に何ができるか考え、試行錯誤してそれぞれがベストを尽くすということは個人でできることですが、7から9条は自分で完結できない難しいところかと思っております。自分がベストを尽くして頑張っているとき、頑張っていないように見える人に色々不満などが出てきてしまうと、連携協力がなかなかできないことになりがちかと思うのですが、連携協力する上では、そういう人たちにも現状をわかりやすく伝えた上で、ベストを尽くせるように支援することが大事かと思ひ、こういう並びにさせていただいております。

そして最後、色々大変なことがあったとしても、ピンチはチャンスだと捉えて前向きにこの地域福祉の推進に取り組んでいきたいというような想いでこの10箇条をまた作らせていただきました。

以上でございます。本当に皆さまありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。

【委員長】

ありがとうございます。議事録の件について、何かございましたら事務局までお伝え願います。それから、これからの日程についてですが、皆さまを代表して私と副委員長で市長に報告をさせていただきます。どうぞご了承ください。その結果を基にして、4月中に冊子にし、5月には皆さまの元に製本されたものが届きます。この推進のための10箇条はその冊子の中には入ってはいないと思いますが、皆さまそれぞれの胸に置いていただき、これからこの計画を实践する上での一つのよすがにしたいと思しますので、よろしく願い致します。

以上で、予定された日程は全て終わりましたが最後に何か言い忘れたこと等はございませんか。(なし)

皆さまそれぞれの想いはあると思えますけれどもなかなか言葉にするのは難しいということもございます。そういう想いを胸にしながら、この会を閉じたいと思えます。

5回にわたるご審議本当にありがとうございました。委員の皆様へ感謝申し上げます。そしてまた、事務局の皆さま本当にありがとうございました。